

大戸福医大副学長たたえる 島

昭和天皇記念学術賞の受賞祝賀会 福

第59回献血運動推進全国大会の昭和天皇記念学術賞を受けた福島医大の大戸斉(ひとし)副学長の受賞祝賀



親族から花束を贈られ、笑顔を見せる大戸副学長(後列左)

会は20日、福島市の福島グリーンパレスで開かれた。輸血医学の推進や医療を通じて本県復興に尽くす大戸副学長の功績をたたえた。約100人が出席した。発起人を代表して福島医大の池田和彦主任教授があいさつした。秋野公造参院議員(公明、福岡選挙区)、吉岡章前奈良医大学長、竹之下誠一福島医大学長兼理事長、紀野修一日赤血液事

業本部長が祝辞を述べた。神谷研二放射線影響研究所理事長がビデオメッセージを寄せた。福島医大のノレット・ケネス教授の音頭で乾杯した。

大戸副学長は「研究を温かく支えてくれた恩師や友人、家族、全ての人々に深く感謝する」と述べた。親族から花束が贈られた。

祝賀会に先立ち、受賞を記念した講演会が開かれた。福島医大の佐野秀樹教授、大平弘正主任教授、竹石恭知主任教授が先進的な治療法や成果を解説した。

大戸氏「周囲の支え感謝」

福島で学術賞受賞祝賀会



日赤の昭和天皇記念学術賞を東北地方で初めて受賞した福島医大の大戸斉副学長の祝賀会が20日、福島市で開かれ、関係者が大戸氏の功績をたたえた。

大戸氏は、37番目となる新たなヒト血液型「KANNO（カノ）」を発見。画期的な血小板保存バッグも

共同開発するなど、多くの患者に恩恵をもたらした。祝賀会には約100人が出席。来賓祝辞のうち、福島医大の竹之下誠一学長・

理事長は「輸血医学に身を投じ、輸血の安全性向上などに貢献された。福島医大150年の歴史の中でも特に輝く偉業」とたたえた。

大戸氏は自身の研究内容を紹介し「これまで支えてくれた多くの先輩や同僚、友人らに感謝を申し上げたい」と喜びを語った。写真。

大戸氏は、千葉市で昨年7月に開かれた第59回献血運動推進全国大会で表彰を受けた。同学術賞は昭和天皇の遺金を基に、献血事業振興のため日赤が設立し、血液事業に貢献のあった個

人・団体を表彰している。祝賀会に先立ち、福島医大の3教授による記念講演会が開かれた。祝賀会には福島民友新聞社から菊池克彦常務が出席した。

（くわしくは1ページ） © AI